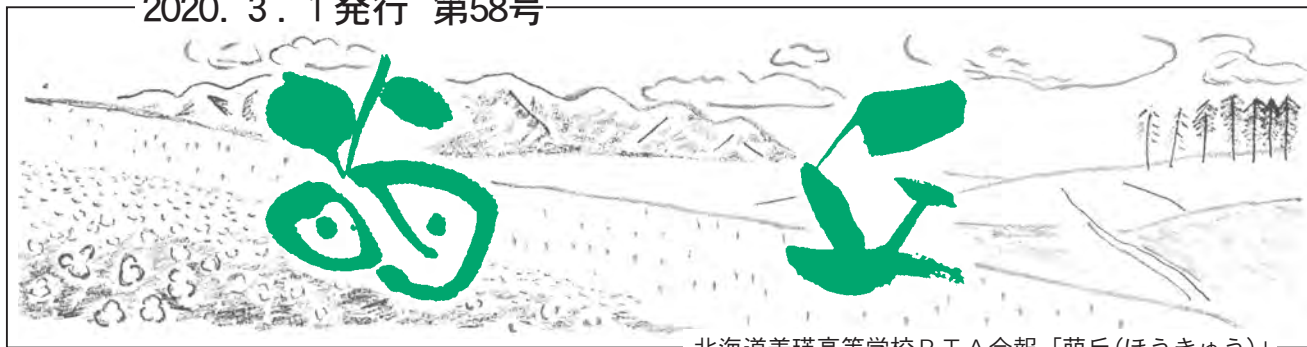




北海道美瑛高等学校PTA会報「萌丘(ほうきゅう)」
事務局 TEL 92 — 1054

令和元年度を終えて

PTA会長 田野中 智 昭

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。美瑛高校での高校生活に希望と不安の中、入学され、卒業を迎えました。

皆さんにとって美瑛高校で過ごした三年間はどのような出来事があったでしょうか？嬉しかったこと、悔しかったことその一つ一つが思い出し、またその経験がこれからの社会生活で大いに役に立つと思います。

三年生の皆さんは美瑛高校を卒業され、進学、就職と進む道はそれぞれではありますが自分の選んだ道を信じて進み、迷った時には一度立ち止まり、周りにいる人たちに相談できる人になってください。

保護者の皆さんにおかれましては卒業生と同じく高校生活に対する不安の中子供達を送り出したことでしょう。親と子の中でも色々な喜びや苦難があったことと思いますが、今日、立派に成長し、卒業式を迎えた事にお慶び申し上げます。心身ともに成長した子供たちのこれからの活躍を期待し、温かく見守っていきましょう。

在校生の皆さんは先輩が卒業を迎えるにあたりさみしく思うでしょうが、四月には新入生を迎え、新たな美瑛高校を築いてくれることでしょう。二年生の皆さんも最終学年になります。自分で将来を

見据え、勉強や日頃の生活に気を付け、希望する進路に向かって努力してほしいと考えます。一年生もインターシップ等で経験したことを活かし、将来の目標を見つけてられることを期待しています。

また、PTA活動としては四月のPTA総会に始まり、PTA交流会や学校祭、各種研修会にご参加やご協力いただき感謝申し上げます。また、一、二年生の保護者の皆様にはこれからもPTA活動に御協力いただけます様お願い申し上げます。

PTA活動と聞くと参加することが、面倒になるかもしれません。が、会員の皆さんと共に良いものにしていきたくと考えておりますのでよろしく願います。

また、生徒が行っている地域ボランティア活動やインターシップ等で、ご協力頂きました地域や企業の皆様にも、心から感謝とお礼申し上げます。

最後になりますが、校長先生をはじめ教職員の皆様には生徒に向き合い、時には優しく、また厳しく指導していただきありがとうございます。

美瑛高校を誇りに

校長 升 田 重 樹

保護者の皆さまにおかれましては、日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

また、この度卒業した生徒の皆さん、そして卒業生の保護者の皆さま、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本校の生徒たちは雄大な十勝連峰を教室から毎日仰ぎ見ながら、明るく元気に高校生活を過ごしております。

本校を巣立った卒業生は、希望に胸を膨らませて新たな人生をスタートしましたが、時として思わぬ壁にぶつかるときがあると思います。そんなときには、この十勝連峰下にある美瑛の美しい自然を思い出し、それだけでも気持ちになるかもしれません。

青々とした夏の山、空、白銀に覆われた冬。他にもいろいろと美瑛のよさはあると思います。今後は、前向きに新たな人生を進んでいってほしい一方で、時々美瑛で過ごしたことを振り返り、美瑛のよさを再認識し、美瑛高校を卒業したことを誇りにして生きていくことを願っています。

また、高校時代の友人は一生の付き合いになることが多いとよく言います。苦楽を共にした仲間は、その時にしか共有できない高校時代特有の仲間意識が芽生え

ます。卒業してから未永く付き合っていく仲間が自然とできたとき、そんな仲間が、自分が人生の荒波にもまれ立ち止まってしまったときなどに、きつと相談にのってくれることでしょう。そして、その後の人生においても、ますます絆を深め合うこととなります。

在校生の皆さんには、先輩たちが築いた良き伝統を受け継いで今後の学校生活にチャレンジし、誇りを持って美瑛高校を巣立っていくことを強く願います。

そのためには、まだまだ保護者の皆さまの支えが必要です。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



卒業を祝して

同窓会会長 橋本 正和

第五十八回北海道美瑛高等学校卒業生の皆様へ卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。高校生活三年間の思い出はたくさんあったと思いますが、四月から大切にして下さい。四月からはそれぞれの道を歩み出します。

高校時代の友人を大事にして素晴らしい将来に向かって進んで下さい。近年気候の変動が激しく毎年の様に災害が起きています。昨年の美瑛は幸い被害はほとんどありませんでしたが全国的には大雨強風等地球温暖化の影響も有ると思います。被災地の皆様にはご同情申し上げます。私達が学校に通っていた頃は乾燥していて白金へ向う美沢地区は六月の中学校運動会は強い風で畑の土が舞い、真っ黒になり大変でした。近年は雨が多く畑が流されたり川の水が堤防を壊したりと大変ですが、心配ばかりしてもいけません。今は予報も正確になって来ていますので、それぞれの確かな判断と準備を怠らなければきっと克服できると思います。卒業生の皆さんもこれらの人生を歩んでいく上で楽しいことや辛いことを経験し、時には問題に直面することもあると思いますが、美瑛高校で学んだことを礎に正しい判断をし、その局面を乗り越えて欲しいと思います。美瑛町はとても素晴らしい自然環境

に恵まれた土地です。そこで育った美瑛高校卒業生としての誇りを持ちこれからの人生を力強く歩んで欲しいと思います。最後に美瑛高校の同窓生は各地で活躍しています。何か困ったことがあるときはいつでも頼りにして下さい。同窓会の先輩は君たちの出立を大切にしていきたいと強く願っています。

祝、卒業！

三年一組担任 伊東 由尋

早いもので、このクラスを担当して三年が過ぎようとしています。今年は、いろいろな行事を最高学年として、最高の成果を収めたように思います。学校祭ではパフォーマンスの踊りを一致団結して真剣に踊りました。体育祭では、クラスで力を合わせて取り組むことができました。また、三年最大の取り組みである進路活動がありました。進路ガイダンス、進学相談会、就職説明会、オープンキャンパスなど、各自がいろいろなところに参加しました。これまでの取り組みでかなり成長したことと思います。

卒業後はそれぞれ別々の道を進

むこととなりますが、社会の常識を身につけ立派な大人に成長してほしいと思います。卒業後に、母校を訪ねるときには、事務室で来校者名簿に記入し、職員室では教頭先生に挨拶してから、先生方のところに行き話をするなど、大人らしい対応をしてください。高校時代にはできなかった生徒が多くいましたが、健康管理はしっかりとしたいと思っています。元気でいけば何でもできるはずです。くじけそうになっても、乗り越えられはります。いつまでも元気でいてください。

最後になりましたが、保護者の方々、美瑛町の関係者の方々、JRの関係者の方々には大変お世話になり、ありがとうございます。Good luck! See you!

卒業おめでとう

三年二組担任 佐藤 晃

卒業生の皆さん、保護者の皆様、卒業おめでとうございます。本日の節目を無事に迎えることができましたのは、保護者の皆様が三年間にわたって本校の教育活動にご理解、ご協力いただいたおかげと改めて感謝いたしております。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんがこの美瑛高校に入学してから、あつという間に三年という月日がたとうとしています。登校日数にして五六五日間。皆さんにとって、この

「三年間」という月日は長かったのでしょうか、短かったのでしょうか。

思い返してみると、本当に色々なことが頭の中を駆けめぐります。毎日の学習活動や定期考査はもちろん、三年前の入学式にはじまり、宿泊研修、見学旅行、学校祭、体育大会……などの各種学校行事、びえいヘルシーマラソンなどのボランティア活動、と挙げていけばきりがありませんが、皆さんは自分たちの力で、一つ一つ、それぞれの出来事を乗り越えてきました。もちろん多くの周りの人たちのサポートを受けながらですが、その取り組みには本当に感謝させられました。

学校生活の色々な場面で投げ出したくなったり、つらくて逃げ出したくなったりしたことが数多くあったことでしょう。実際に投げ出したり、逃げ出したりしたこともあったかもしれませんが、しかし、困難に真正面から立ち向かい、たとえその時に結果はついてこなくても、あきらめずに取り組んだ皆さんの姿を私は数多く見てきました。それがどんな些細なことであっても、あきらめずに努力したことは、一人一人の力となり、表情や雰囲気を変化させ、成長を感じさせてくれました。そして、三年間という時間の中で、一人一人自身は違っても、多くのことを学び、身につけた皆さん。その数多くの「学び」を活かして、それぞれの選んだ道で、これからも努力して下さい。私も皆さんの姿を忘れずに、これから様々な困難に立ち向かっていこうと思います。

四月からは、それぞれの選んだ道で、それぞれの新しい生活がスタートします。皆さんの活躍を、心から期待しています。三年間本当にありがとうございます。

三年間の思い出

三年一組 岩佐 航太

私たちが入学した時は、各クラス二十人弱でしたが、一年生のうちですでに六人くらいいなくなりました。そして、学年が上がるにつれてどんどん人がいなくなり、三年生全員の人数が三十人とすぐ少人数の学年となってしまいました。ですが、人数が少ない分、楽しかった思い出やつらい思い出などたくさんあったと思います。高校生活最初の行事は入学式です。当然ほとんどの人は初対面で緊張すると思いますが、クラスの半分が同じ中学校の人だったので安心しました。比較的一年生の時の行事は楽しかったです。二年生の時は、クラス替えもあり、半分の人達が入れ替わり新しい生活が始まりました。二年生になると新しく一年生が入り、後輩を持つことになりました。部活動では三年生がいらない所は、二年生が仕切っていく事になるので、上手く指示が通らなかつたり、辛かった事などあったとおもいますが、仲間同士励ましあいながら、なんとか

乗り切って頑張ったと思います。二年生になると見学旅行があり、見学旅行では平和学習の一環として原爆ドームに行ったり、様々な場所で色々学ぶ事がありました。



▲ 3-1 音楽祭

三年生になると、何もかも全て最後なので、今思うと、後悔した場面がありました。三年生になると、卒業までの時間がほんとにあつという間でした。夏休み頃から皆それぞれ進路に向かって取り組んでいきました。そして、冬休みが明けるとほとんどの人が決まっていたいました。それぞれ進路が別々になってしまふので四月以降から頑張つて欲しいなと思います。そして、高校生活三年間を振り返るとほんとに早いし、私自身ですが美瑛高校を選択して、最終的に何も無かつたので良かったのかなと思います。そして、最後に私たちをここまで支えてくれた先生方には、感謝しきれないです。また、親にも感謝しきれないです。本当に今までありがとうございました。これまで学んだ事を忘れずこれからも生活していきたいと思っています。



三年間を振り返って

三年二組 松本 桃佳

私の高校生活はとても充実したものになりました。

私は中学からの友達がこの高校にいません。初めての場所、初めて見る顔、初めてだらけの入学式はとても緊張しながら参加しました。人見知りの私に初めてだらけのここで友達ができるか心配でした。しかし周りが話しかけてくれて友達もできました。そんな中挑んだ学校祭。一年生の時は行燈、パフォーマンス、模擬店すべて初めての体験で混乱し、中途半端になつてしまつていた部分もありましたが、最後の学校祭は生徒会執行部という貴重な体験もさせてもらつたり、模擬店やパフォーマンスもクラスみんなのおかげで成功したと思っています。

三年間で一番の思い出は見学旅行です。

小学校のころから行きたかつた原爆ドーム、伏見稲荷神社、ユニバーサルスタジオジャパンなどたくさんの方々の場所でも色々なことを学ぶことができました。



▲ 3-2 音楽祭

大変だったことはやはり進路活動です。

私は元々管理栄養士になりたいと思つていました。しかし周りや進学相談会に参加し色々話を聞くにつれて保育士になりたいと思うようになりました。大学に向けての準備は夏休みから始まりました。書くことも多く嫌になることもたくさんありましたが先生や友達が進んでくれたおかげで乗り切ることができました。おかげで大学も決定しました。支えてくれた先生や友達に出会えてよかつたです。この三年間は楽しいことだらけ！とは言えない三年間でしたが、決して無駄な三年間だとは思わないし、ここでしか学べないこともたくさんありました。ここで学んだことを将来に活かしていきたいと思っています。今まで支えてくれた先生方、クラスのみんなありがとうございました。

インターシップを終えて

一年一組 樋口 華胤

私は、インターシップで「ハンドメイドショップ ラ・コリーヌ」さんにお世話になりました。実習先に希望した理由は、私は以前から物作りに関わる仕事に就きたいと思つており、その夢の実現に近づくために、実際に物作りをされている方がどのように仕事をしているのか、作品をつくる際に



▲ 1年生 インターンシップ

どんなことを気にかけているのかといったことを学ぶことができる考えたからです。

私が実習をさせていただいたのは一日間だけでしたが、店内の整備作業や機織り体験を通じて、商品として売るためのものを作る際の気持ちや、お客様に来ていただくために心がけることなどを学ぶことができました。とくに、作家さん方が輪番でお店に立っていることや、ご自身で育てた大豆を使って作品をつくる方もいると知り、「作る作業にかかりつきり」

「今あるものを組み合わせる」だけでは、本当に商品として売るためのものは作れないのだと実感しました。こうした体験を経て、自分の物作りへの気持ちが少し変化し、今まではとにかく作ることに集中していましたが、今後は一つ一つ丁寧に作り、しっかりと時間をかけて完成度を上げる努力をしたと思います。

また、実習後にはラ・コリーヌのスタッフさんの前で実習成果を発表する機会を頂き、今後自分が物作りを仕事にするに当たって克服しなければならない課題などに

インターシップを終えて

一年二組 田中 竜希

発表するとは苦手で、今回の発表を通じて、少し苦手意識を克服することができたと思います。これからの高校生活は、物作りに限らず「丁寧に取り組むこと」を意識し、将来の夢を実現させたいと思います。

私はインターシップでホテル「ラブニール」さんに行きました。私がラブニールさんを希望した理由は、多くの人と長く関わるホテルの仕事を知り、自身の将来の目標を見つけられるよう学ばせていただきたいと考えたからです。

インターシップは二日間あり、どちらともお客様との繋がりを大きく感じることができた仕事でした。一日目はホテル全体の間の取りの紹介や、おもてなしの本当の意味、チェックアウトの行程を

ついて考察を深めることができました。発表の当日は、予定したスライドが流れなかったり、緊張しちゃうくらいしゃべれなかったりと反省すべき点も多いものでしたが、お世話になった方からお褒めの言葉もいただくことができました。私はこれまで人前で発表することは苦手で、あまり経験がありませんでしたが、今回の発表を通じて、少し苦手意識を克服することができたと思います。これからの高校生活は、物作りに限らず「丁寧に取り組むこと」を意識し、将来の夢を実現させたいと思います。

見学させていただきました。また、二日目は昨日と同じチェックアウトの見学に加えて、新たな企画の考案やお客様が泊まる宿泊部屋の点検、インターネットから来た予約をパソコンを使って表に入力する作業をさせていただきました。

インターンシップの中で、私はホテルの職員の方々のチームワークや明るさを何度も感じる事ができました。また、当日に担当していた水島様は私に飲み物を買ってくれたり、こまめに休憩を挟んでくれたりと、とても優し

い方で、ここでインターンシップを受けられることができて良かったと思えました。今回のラブニールさんでの体験を受けて、これからの社会における人と人とのコミュニケーションの大切さや、日々こつこつと努力することの重要性、お客様に対する思いやりの重要性等を学ぶことができました。今回の貴重な体験を無駄にしないためにも、これからの学校生活ひとつひとつを大切に、自分を高められるよう努力を続けていきたいです。

今年度の進路状況と 本校の進路指導について

進路指導部長 鉢呂 靖

令和元年度の卒業予定者は男子十四名、女子十六名の計三十名となります。進路決定状況は別表のとおりですが、今年度は進学希望者が少なく、公務員・自営を含めた就職希望者が全体の約六割と例年になく就職する生徒が多い状況でした。また今年度進学では、大学・短大への進学希望が例年に比べ少なかったことも特徴的でした。就職はほとんどの生徒が旭川市内・近郊及び美瑛町への就職で、やはり地元志向が強いと感じております。今年度の求人状況は昨年度に引き続き景気の上向き、少子化の影響などもあり、各企業は人手不足で求人倍率は良好でした。しかし今後も同じ状況が続くか

どうかは未知数の部分が多いです。東京オリンピック後の経済状況や消費税増税の影響などはまだ不透明です。各企業も合理化を進めています。このような社会の変化が高校生の求人に影響を与える可能性があります。また進学をめぐることはこれから大きく変化していきます。まず進学希望者に対しての経済的支援が少しずつ広がっています。一つは、給付型奨学金の対象となる条件が緩和されました。昨年度は対象となる条件が生活保護世帯など一部の者に限られていましたが、今年度からは条件が緩和され、本校でも多くの生徒が給付を受けられることになりました。まだまだ

金額等十分ではありませんが、今後さらに拡充されることを期待したいと思えます。また、大学や専門学校など、各学校で経済的に厳しい家庭への独自の支援制度なども増えてきました。これらの支援を利用し、今後、進学を希望する生徒の夢の実現が広がっていくことを願いたいと思います。また、次年度からはセンター試験が廃止となり、新しく共通テストの実施が始まります。ご存じのように英語の外部検定の入試への活用や国・数の記述問題の次年度からの導入は見送られました。入試制度は今後大きく変わっていくことが予想されます。さらに三年間の高校生活をどう過ごしてきたか、積極的な活動を行ってきたかなどを入試でも問われるようになってきます。ですから、生徒の皆さんには高校生活に目的を持って取り組み、

充実したものとなるようさらに努力をしていってほしいと思います。美瑛高校では現在「キャリア教育」に力を入れ学校全体で取り組んでいます。「キャリア探求」という授業をこれまで一年生で実施し、全員のインターンシップや地域巡検、進路ガイダンスなど様々な取り組みを行ってきました。今年度からはその「キャリア探求」を二年生にも広げ、「マイプロジェクト学習」などを行ってきました。マイプロジェクト学習とは、自分で関心を持った社会テーマ（美瑛の農業・食品ロス・地域とのつながり、虐待問題など）についてグループで調査・研究し、まとめたものを全体に発表する取り組みです。このような取り組みは全国規模で行われており、先日、本校の代表四組が全道大会に参加しました。一、二年生でのこのような活

動を通し、生徒たちの探求していく力は確実に高まっていると思います。今後もこのような生徒たちの積極的な取り組みを支援し、将来の進路実現へつなげていきたいと思います。また、これらの取り組みは地域や企業、保護者の理解と応援があつて初めて成り立つものです。これまでのご協力に感謝するとともに、今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。



▲2年生 マイプロジェクト

令和元年度第3学年進路決定状況（2/17現在） 在籍30名 北海道美瑛高等学校進路指導部

種	学校（企業）名	男子	女子	計
大 学 大学校	北海道職業能力開発大学校	1		1
	札幌大学		1	1
				0
				0
小計		1	1	2
短 大	旭川大学短期大学部		1	1
				0
				0
				0
小計		0	1	1
専門学校	北都保健福祉専門学校	1		1
	経専調理製菓専門学校	1		1
	北海道芸術デザイン専門学校	1		1
	北海道医学技術専門学校	1		1
	北海道情報専門学校	1		1
	旭川医療情報専門学校		1	1
	旭川福祉専門学校		1	1
	富良野緑峰高校農業特別専攻科	1		1
小計		6	2	8
公務員	自衛隊自衛官候補生	1		1
				0
小計		1	0	1
民間就職	ヤマダ電機	1		1
	道北アークス		2	2
	アウトバーン		1	1
	壺屋		1	1
	アトム農機		1	1
	旅亭リゾート 森の旅亭びえい		1	1
	サカイ引越センター	1		1
	美瑛物産公社	1		1
	ヴォークス	1		1
	美瑛通運	1		1
	楽生会	1	1	2
	ファミリーズ		1	1
	ゼストシステム		1	1
小計		6	9	15
自営	農業	1		1
小計		1	0	1
合計	進路決定者	14	13	27